

実務経験のある教員による授業科目の一覧表

分野	授業科目	単位	時間数	実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連
専門分野	看護学概論	1	30	看護師 臨床経験	看護学を構成している人間、環境、健康、看護の基本的概念について学び、さらに看護が保健医療福祉活動の一翼を担う専門職として社会的責務を果たすための看護の本質を探究し、看護の目的や役割機能について学ぶ。これらの学習を通して、看護学の中心的概念を理解する。担当教員は、医療機関に携わった実務経験を活かし、看護の概要について講義する。
	日常生活援助技術Ⅰ	1	30	看護師 臨床経験	食事援助技術では、栄養状態や摂食能力などのアセスメントの方法について学び、食事介助の方法や非経口的栄養摂取の援助の方法を学ぶ。排泄援助技術では、排泄の意義と排尿・排便のメカニズムを理解し、対象者の状態に応じた排泄の援助方法を学ぶ。担当教員は、医療機関に携わった実務経験を活かし、対象者の状況に応じて対応ができるよう講義・演習を行う。
	診療に伴う援助技術Ⅱ	1	30	看護師 臨床経験	検査・治療の意義および検査・治療・処置における看護師の役割を学ぶ。検査・治療・処置に伴う技術として、検体検査・創傷管理・呼吸・循環を整える技術・輸血管理について学ぶ。担当教員は、医療機関に携わった実務経験を活かし、看護師の役割について講義・演習を行う。
	フィジカルアセスメント	1	30	看護師 臨床経験	看護におけるフィジカルアセスメントの概念と目的を理解し、形態機能学・人間の身体面に焦点をあて、看護の対象の健康状態を把握するための基本技術を学ぶ。生命を維持するうえで必要なバイタルサイン測定の方法や健康状態の評価に必要なフィジカルアセスメントの理論と方法を学ぶ。担当教員は、医療機関に携わった実務経験を活かし、学生の実践的な思考力を養う。
	看護技術の統合演習	1	30	看護師 臨床経験	看護過程の展開事例を用い、既習の知識・技術を統合し、対象者の個別性に合わせた看護援助計画を立案し実施、対象者の反応を捉え評価・修正する過程を習得する。担当教員は、医療機関に携わった実務経験を活かし、対象者の個別性を生かした指導を展開する。
	臨床看護総論	1	30	看護師 臨床経験	臨床判断能力を養うことを目的として、急性期看護のシミュレーション演習を通して、既習科目の基礎的な知識・技術を統合し、対象者の変化するライフサイクル、場、健康状態に適した、科学的根拠に基づく看護実践のための思考過程を学ぶ。担当教員は、医療機関に携わった実務経験を活かし、学生の看護実践能力を養う。
	地域・在宅看護概論	1	30	看護師 臨床経験	地域・在宅看護が必要とされる社会情勢の変化を踏まえ、地域で生活する在宅看護の対象と多様な看護活動の場と機能について理解する。さらに、地域包括ケアシステムの中での看護師の役割を見出し、多職種連携・協働の意義と方法を学ぶ。担当教員は、医療機関に携わった実務経験を活かし、多職種連携・協働を学ばせる。
	母性看護援助論Ⅱ	1	30	看護師 臨床経験	周産期における妊娠期・分娩期の生理を理解する。また、身体的・精神的・社会的側面を考え、妊娠期・分娩期の健康を保持増進するために必要な知識と技術を学ぶ。さらにハイリスク因子、正常から逸脱した場合の治療、看護について学ぶ。担当教員は、医療機関に携わった実務経験を活かし、学生が考察を深められるよう講義を行う。
合計		8	240		

実務経験のある教員による授業科目の単位・時間数

区分	単位 時間数		
専門分野	38単位 1020時間		省令で定める単位・基準時間数 8単位・240時間